



## 「神様は真実なお方」

～聖書の中に隠された「試練」の目的～

「ただ、このことを覚えていてください。あなたがたの生活の中に入り込む悪い欲望は、別に新しいものでも、特別なものでもないということです。ほかにも多くの人たちが、あなたがたよりも先に、同じ問題にぶつかってきたのです。どんな誘惑にも、抵抗するすべはあります。神様は決して、とてもたち打ちできないほどの誘惑に会わせたりは、なさいません。神様がそう約束されたのであり、神様の約束は必ず実行されるのです。神様は、あなたがたが、誘惑に忍耐強く立ち向かえるように、それから逃れる方法を教えてくださいます。」

コリント人への第一の手紙10章13節 [リビングバイブル]

「私は、神様は乗り越えられない試練は与えない、自分に乗り越えられない壁はないと思っています。」とは自らの白血病を発表した、水泳の池江選手のツイッターでの言葉ですが、私たちの人生の中で、乗り越えていかなければならない壁が自分の目の前に立ちはだかるという現実があります。そんな時、どのようにその試練を受け止めるかがカギとなってきます。

私たちがどうしても注目してしまうのは、「試練」そのもののように感じます。しかし、パウロはここで何を言いたかったか？それは、私たちが出会う「試練」は誰もが通ることで、旧約聖書を読むと、イスラエルの民が荒野で経験したことを見ればそのすべてを知ることができると10章の前半では語っています。多くの試練を通して、罪を犯してしまったイスラエルの民たちは神様から多くの訓戒をいただきました。山あり谷ありの彼らの旅でしたが、最終的に主はご一緒して、彼らを約束の地へとみちびかれました。彼らはそれらの試練の中で、主は真実なお方であることを学んだのです。ですから、私たちも「試練」に振り回されることなく、真実なる神様を見上げて、私たち自身も神様に対し、人々に対しても真実に忠実に、そして誠実に生きることが重要であるとパウロは語りたかったのではないのでしょうか。

私たちは、「試練」の中で自分自身に目を向けがちですが、そうではなく、「試練」を通して、尚も、真実なる神様に目を向け、他者に対して誠実に生きる。そうするなら、私たちの信仰が成熟し、神様が願っている信仰者へと成長していくことができると信じます。

しかし、「試練」を通して私たちは人生の様々な局面に「真実に」対座することができるようになることも事実です(もうふざけてる場合じゃないと考えるから)。だから「試練」をも喜び感謝することができるのです。そして、その「試練」を通して、あの旧約聖書に登場する恐るべき偉大な神様が人となって、私たちと共に住んでくださっていることの大きさを肌で感じ、私たちの小さな信仰が豊かなスケールを持った信仰へと変えられていくのです。

旧約聖書はとても読みごたえがありますが、その中に偉大な神様のご存在が明らかに示されています。その旧約聖書の世界にも挑戦していきましょう！